

## 労働衛生上の課題が集約された58大項目

「21世紀の労働衛生研究戦略協議会」において労働現場から多数の労働衛生上の課題が提起されましたが、それらは協議会における討議の過程で58個の大項目に集約されました。それらを次に示しました。

- |   |                                  |
|---|----------------------------------|
| 1. 産業構造変化と労働衛生                            | 31. 産業疲労                         |
| 2. 中小企業・自営業                               | 32. 生体機能特性（加齢・性差・個人差）            |
| 3. 海外進出企業・海外派遣労働者                         | 33. 快適な職場環境（環境・作業内容・設備等）         |
| 4. 農林水産業の労働衛生                             | 34. 物理環境等と生体影響（温熱・光・騒音・振動・気圧等）   |
| 5. 労働力（生物学的側面からの研究を除く）                    | 35. 企業経営戦略と労働衛生、安全衛生マネジメント       |
| 6. 女性労働者・母性保護                             | 36. 労働衛生教育・情報提供                  |
| 7. 高年齢労働者                                 | 37. 労働衛生活動の評価                    |
| 8. 産業ストレス                                 | 38. Evidence based medicine      |
| 9. メンタルヘルス／働き甲斐・生き甲斐                      | 39. 労働衛生関連統計                     |
| 10. 健康診断・保健指導                             | 40. ハザード・リスク評価                   |
| 11. 健康増進（THP、喫煙、飲酒、栄養、健康度評価を含む）           | 41. リスクコミュニケーション／MSDS            |
| 12. 作業関連疾病                                | 42. 曝露限界値                        |
| 13. 有病者・障害者の就労／職場復帰（リハビリテーションを含む）         | 43. 生物学的モニタリング                   |
| 14. 生涯保健（地域保健との連携を含む）                     | 44. 新技術・材料等の導入にかかわる労働衛生          |
| 15. 国際基準・調和・比較・協力                         | 45. 疫学（介入研究含む）                   |
| 16. 作業環境の評価方法                             | 46. 複合曝露                         |
| 17. 化学物質の捕集・計測・分析法                        | 47. 化学物質の皮膚・粘膜・目への影響             |
| 18. 粉じんの捕集・計測・分析法                         | 48. 化学物質・粉じんの呼吸器系への影響            |
| 19. 騒音・振動の計測・評価・制御技術                      | 49. 化学物質の神経系への影響                 |
| 20. 物理因子の計測法・計測装置・制御技術                    | 50. 化学物質の内分泌・生殖器系への影響            |
| 21. 新計測技術（リアルタイム計測・センシング技術等）              | 51. 化学物質の免疫系への影響、アレルギー           |
| 22. 作業環境の制御・管理技術（全体換気・局所排気・空調、フィルター・吸着材等） | 52. 化学物質（体内動態・代謝／その他の生体影響・酸欠を含む） |
| 23. 保護具                                   | 53. 電磁場・放射線の生体影響                 |
| 24. 労働形態（テレワーク・在宅ワーク・裁量労働制等）              | 54. 生物因子の生体影響（因子の計測・評価／感染等を含む）   |
| 25. 労働時間制（深夜勤・交替制等）                       | 55. 遺伝的素因・感受性                    |
| 26. 安全・事故のヒューマンファクター／交通システム               | 56. 遺伝子影響                        |
| 27. 作業方法／作業設計                             | 57. がん                           |
| 28. 機器操作性向上（ユーザビリティ・デザイン等）                | 58. 生体影響指標の開発                    |
| 29. VDT作業／情報機器利用                          |                                  |
| 30. 筋骨格系負荷・負担／重量物運搬・持ち上げ                  |                                  |

## 18 優先課題に含まれる大項目一覧

（労働現場から提起された多数の労働衛生上の課題を集約した58個の大項目を各優先課題に振り分けた一覧表）

1. 多様化する働き方と健康：
  - 労働時間制(深夜勤・交替制等)、産業構造変化と労働衛生、海外進出企業・海外派遣労働者、労働力（生物学的側面からの研究を除く）。
2. 情報技術（IT）と労働衛生：
  - （裏面へ続く）

- 労働形態（テレワーク・在宅ワーク・裁量労働制等）
3. メンタルヘルスと産業ストレス：  
産業ストレス、メンタルヘルス／働き甲斐・生き甲斐、産業疲労
  4. 作業関連疾患の予防： 作業関連疾患
  5. 高齢労働者の健康： 高齢労働者
  6. 就労女性の健康： 女性労働者・母性保護
  7. 化学物質の有害性評価：  
化学物質の内分泌・生殖系への影響、化学物質の免疫系への影響、アレルギー、化学物質の神経系への影響、化学物質（体内動態・代謝／その他の生体影響・酸欠を含む）、化学物質・粉じんの呼吸器系への影響、化学物質の皮膚・粘膜・眼への影響
  8. 遺伝子影響とがん： 遺伝子影響、がん
  9. 複合ばく露： 複合ばく露
  10. 健康影響の個人差： 遺伝的素因・感受性
  11. 人間工学的因子と生体負担：  
作業方法／作業設計、筋骨格系負荷・負担／重量物運搬・持ち上げ、安全事故のヒューマンファクター／交通システム、VDT作業／情報機器利用、生体機能特性（加齢・性差・個人差）、機器操作性向上（ユーザビリティ・デザイン等）
  12. 健康影響指標の開発とリスク評価：  
ハザード・リスク評価、生体影響指標の開発、ばく露限界値、生物学的モニタリング、疫学（介入研究含む）、作業環境の評価方法、電磁場・放射線の生体影響、物理環境等と生体影響（温熱・光・騒音・振動・気圧等）、生物因子の生体影響（因子の計測・評価／感染等を含む）
  13. リスクコミュニケーションの効果的な進め方：  
リスクコミュニケーション／MSDS、労働衛生教育・情報提供、労働衛生関連統計、新技術・材料等の導入に係わる労働衛生、Evidence based medicine
  14. 職場環境の計測システムと管理技術の開発：  
化学物質の捕集・計測・分析法、新計測技術（リアルタイム計測・センシング技術等）、物理因子の計測法・計測装置・制御技術、作業環境の制御・管理技術（全体換気・局所排気・空調／フィルター・吸着剤等）、粉じんの捕集・計測・分析法、保護具、騒音・振動の計測・評価・制御技術
  15. 企業経営と労働安全衛生マネジメントシステム：  
企業経営戦略と労働衛生、安全衛生マネジメント、労働衛生活動の評価
  16. 中小企業・自営業における労働衛生の推進策：  
中小企業・自営業、農林水産業の労働衛生
  17. 労働生活の質の向上とヘルスプロモーション：  
有病者・障害者の就労／職場復帰（リハビリテーションを含む）、健康増進（THP・喫煙・飲酒・栄養・健康度評価を含む）、健康診断・保健指導、快適な職場環境（環境・作業内容・設備等）、生涯保健（地域保健との連携を含む）
  18. 労働衛生国際基準・調和と国際協力： 国際基準・調和・比較・協力

日本産業衛生学会・研究会名一覧

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 産業疲労研究会             | 14. 生物学的モニタリング・バイオマーカー研究会 |
| 2. 振動障害研究会             | 15. VDT作業研究会              |
| 3. 職業性呼吸器疾患研究会         | 16. アルコール問題研究会            |
| 4. 中小企業安全衛生研究会         | 17. 産業神経・行動研究会            |
| 5. 有機溶剤中毒研究会           | 18. 職域口腔保健研究会             |
| 6. 産業精神衛生研究会           | 19. 温熱環境研究会               |
| 7. 放射線・原子力保健研究会        | 20. 労働衛生国際協力研究会           |
| 8. 腰痛研究会               | 21. 産業保健情報システム研究会         |
| 9. 頸肩腕障害研究会            | 22. 就労女性健康研究会             |
| 10. アレルギー・免疫毒性研究会      | 23. 化学物質取扱い産業保健研究会        |
| 11. 労働衛生史研究会           |                           |
| 12. 労働者体力問題研究会         |                           |
| 13. 健康教育・ヘルスプロモーション研究会 |                           |